

# 事業計画書

2020年度

2020年4月1日～2021年3月31日

社会福祉法人大原野児童福祉会  
山ノ本保育園

## 1. 基本方針

今年度は、昨年度から続く新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、子ども達には手洗いの指導・消毒の徹底、職員は園内の清掃及び消毒を徹底し、園内の衛生管理に努める。また、新園舎建て替えにおいて、事業運営・経営運営を計画し実施する。事業運営の中で、重要性の高いものから段階的に取り組み、無理なくレベルアップを目指す。

職員は、スキルアップのためキャリアアップ研修を受講し各分野の学びを深め、専門性を高めていく。

若年層や低階層世帯が多い地域であるため、ニーズに応じた関わりを引き続き行い、より良い子育ての環境づくりに努める。

## 2. 保育目標

- ① 一人ひとりの子どもの育ちを支える
- ② 保護者の子育て、働くことを支援する
- ③ 子育てしやすい環境づくり、地域づくりをすすめる
- ④ 義務教育及びその後の教育の基礎を培う
- ⑤ 子どもの最善の利益を考慮しつつ、その生活を保障する
- ⑥ 保護者と共に、園児を心身共に健やかに育成する

## 3. 保育方針

「真っ白な子ども達が20歳になった時、どんな大人になって欲しいのか？」

「子ども達がより良い人生を送る為には、どのような働きかけが必要なのか？」

と考えた時、私達はこのような事を保育の中で大切にしています。



## 保育の特色

(育児担当制：乳児)

乳児クラスでは担当制を導入しています。一人の担任が数名の子どもを1年間担当し、一人ひとりの子どもと丁寧に関わるように取り組んでいます。お子様の生活パターンや月齢などを配慮して担当グループを分けますが、それぞれの担任が担当以外の子どもを見ないわけではありません。より深く担当の子どもの気持ちを理解したうえで、連携を取りながら良い保育環境に導きます。この取り組みにより、お子様との信頼関係がぐっと深いものになります。

(縦割り保育：幼児)

3・4・5歳の異年齢の子ども達が、同じ保育室で生活や遊びをしながら共に過ごしています。

(コーナー保育)

いくつかの遊びをコーナーごとに設け自己選択・自己決定をしながら遊びたい活動に取り組み自主性を育てています。

## 4. 保育活動

### ① 保育園の運営

- ・所在地：京都市南区上鳥羽山ノ本町 61
- ・山ノ本保育園 児童数（定員：60名 令和2年4月1日予定）  
【2・3号】0歳児：3名、1歳児 10名、2歳児 12名、3歳児 11名、  
4歳児 14名、5歳児 11名 計 61名

### ② 開所時間

短時間保育時間：8時30分～16時30分 9時～17時  
標準保育時間： 7時～18時  
延長保育： 18時～18時30分

### ③ 職員配置

園長 1名、主任 1名、保育士 12名、保育者 1名、管理栄養士 1名、  
調理員 2名 計 18名

## 5. 保育内容

定員を満たしての新年度となる。引き続き教材準備や保育計画の検討の時間を確保し、

○豊かな保育活動に繋がるよう努めていく。保育活動全般に関して、乳児はゆるやかな育児担当制、幼児はピラミッドメソッド幼児教育法を取り入れた活動を充実させることを目標とする。保育計画について、年間・月間・日案・個別・デイリープログラムなどを作成し、各種会議において、経過観察と必要に応じて、補正・調整を行い、

子ども達の実情にあった保育活動を計画的に実施する。

## 6. 園内研修

ピラミッドメソッド幼児教育法 講師による園内研修を行い、保育の向上に努めます。幼稚園免許の取得と更新を計画的に進めていきます。

## 7. 園外研修

個人のスキル向上のため、積極的に園外研修を奨励していきます。キャリアパスに沿って新任・中堅・指導者研修を受講します。

## 8. 一時保育事業

1日1～3名のお子様をお預かりします。

## 9. 子育て支援事業

月～金曜日に、園庭開放や各種イベントを通じて、地域の未就園の親子に参加していただきます。

## 10. ホームページ

ホームページを通じて子ども達の写真や動画配信を提供、メール配信により京都府警や京都市からのお知らせや感染症の予防連絡に役立てます。

<https://yamanomoto.ooharano.com/>

## 11. 個人評価制度

職員の賞与支払い時に評価制度を利用して一部査定を行います。個々のやる気を引き出すための制度につなげていきたいと考えています。

## 12. 保護者支援

### ① 日常における支援

日常的なやりとりを心掛け、信頼関係を築くことで、家庭と同じ方向を向き、子どもの育ちを援助する。また、匿名で要望内容等を連絡できるよう、玄関に意見箱を設置する。

### ② 個人懇談・クラス懇談・保育参加

子育ての悩みを共有化し、クラス運営の内容を伝え理解してもらえる場として設けている。また、保育参加では保護者に日々の活動を少しでも理解していただけるよう実施している。

### ③ 外部機関との運営

発達支援や育児不安などにより、専門的な支援が必要な家庭は、外部機関の紹介や連携を積極的に行い、子どもの健全な育ちと、育児に悩む保護者を援助する。

### ④ 地域支援活動

未就園児、異年齢児交流事業、世代間交流事業など、地域交流事業に取り組み、地域全体であんしん・あんぜんに子育てができるよう活動する。また、小学校、児童館、高齢者施設等との交流を図る。地域の園や児童館との交流を図るため、キッズやまのもと・基幹ステーションなど広報活動を充実し、地域支援の積極的活動を行う。

## 13. 保健衛生

- ・乳児健康診断…年6回 ・幼児健康診断…年2回 身体測定年12回
- ・耳鼻科、眼科検診、視力検査、尿検査…幼児のみ年1回
- ・歯科検診…2歳児以上年1回
- ・職員健康診断年1回（付加検診の奨励と、費用負担）
- ・職員インフルエンザ予防接種年1回
- ・調理検便年12回 職員検便年1回

## 14. 防災安全

- ・避難訓練年12回 ・消火訓練年12回
- ・不審者、洪水、水害、土砂災害訓練…年1回
- ・防火設備等の保守点検 ・自主点検 ・非常用飲料水、食糧の確保、点検

## 15. 給食

- ・0～5歳児 昼食、おやつ
- ・離乳食、アレルギー食
- ・食育活動（クッキング、栽培、マナーなど）

## 16. 年間行事

- ・別紙参照（年間行事予定表）

## 17. 園の組織

- ・園長：園経営と園運営の責任と保育活動における総括指揮
- ・主任：保護者支援、地域支援活動の運営、園行事の運営
- ・チーフ：乳児・幼児・キッチンの各クラス全体調整、園行事の運営補助
- ・リーダー：乳児・幼児クラス内の調整、園行事の運営補助

- ・保育士：クラス別担任制配置、行事担当、発達記録等の作成

## 18. 年間会議予定

- ・職員会議：月2回程度　・幼児、乳児会議：月1回程度　・食育会議：月1回程度
- ・チーフ会議、行事担当会議、担当係会議など
- ・保護者会、保護者説明会、個人懇談、家庭訪問（新入園児のみ）・保育参加
- ・法人理事会・法人園長会、主任会、キッチン
- ・南区園長会、主任会

## 19. 職員育成

- ・京都市保育士会　・南区保育内容研究会　・京都市主催の研修
- ・外部の講師による研修　・キャリアアップ　・その他必要に応じ外部研修に参加

## 20. 職員福利厚生

- ・福祉医療機構退職金共済加入
- ・京都府民間社会福祉施設職員共済会加入
- ・職員処遇改善費の支給

## 21. 施設設備計画

- ・防災設備、備品の確保
- ・園の周りの植栽整備
- ・園舎の定期清掃、美化
- ・新園舎建て替え計画

## 22. 資金計画

- ・2020年度予算書参照。